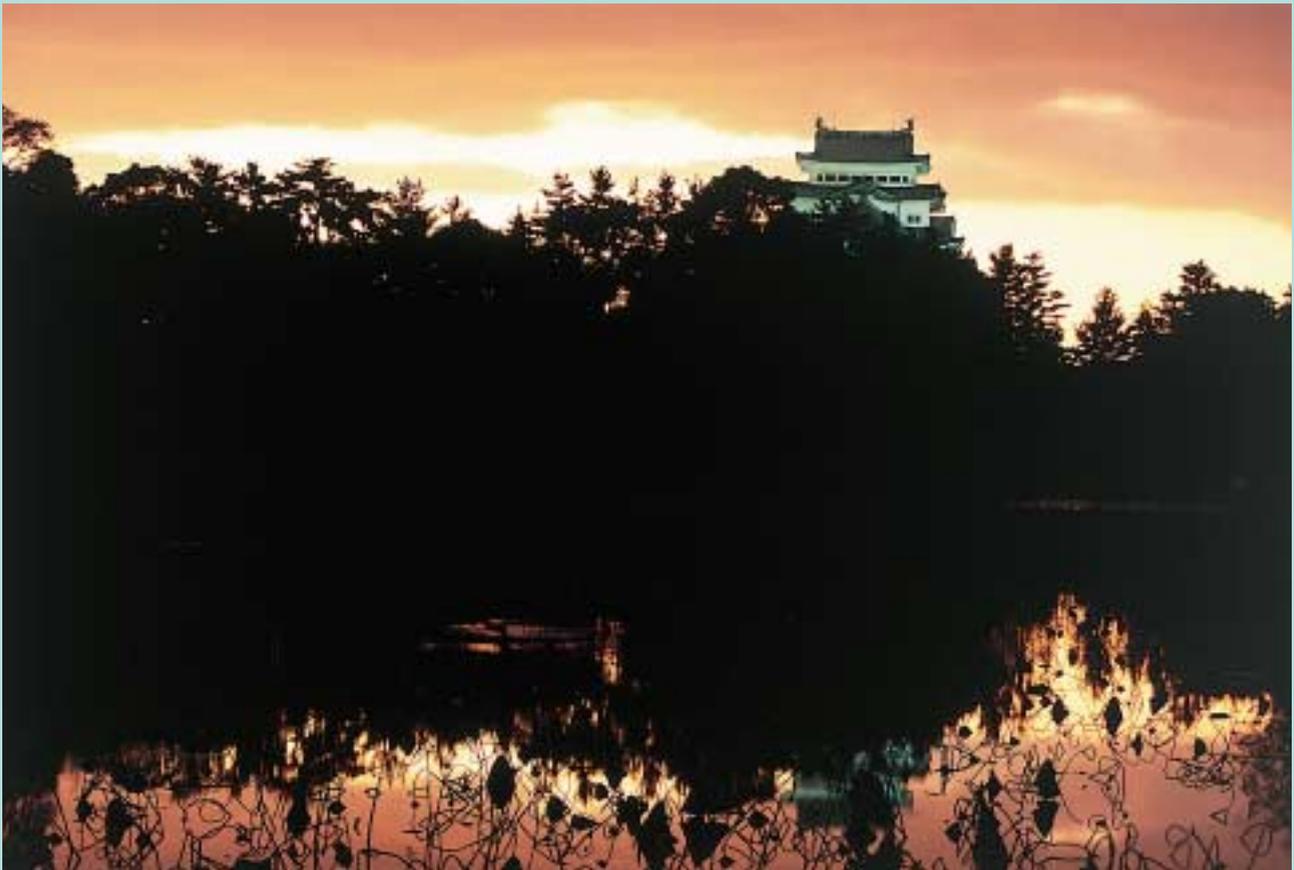


あいちの印刷

3

2008.3
No.436



黄昏の名古屋城

もくじ

巻頭言 次世代に素晴らしい地球を 良い状態で渡そう / 環境委員長 鈴木正博	3
平成19年2月理事会 今後の事業日程を決定	4
愛印工組 教育・労務委員会セミナー	5
中部地区印刷協議会 平成19年度下期会議（愛知県会議）	6
全印工連「平成19年度経営動向実体調査」	8
「自費出版契約ガイドライン」策定	8
身近な催し物のお知らせ	9
申請・認定に関する規定	9
愛知県産業労働部と愛印産連共催の講習会	10
2007年国内広告費	12
本の紹介 / 事務局だより	12

巻頭言

次世代に素晴らしい地球を 良い状態で渡そう

副理事長・環境委員長 鈴木 正博

2年間の環境委員会活動を通して地球環境の重要性と行動の大切さを知りました。

今、地球温暖化現象が拡大している中で、CO₂の排出量が増えていない低開発国の人々が、水害とか海面上昇による生活移住などの災害対応など我々の知らないところで被害を受けてストレスを受けています。その状況の中で温暖化を助長した先進国といわれる当事国から反省と対策への議論が高まり、温暖化防止へと動き出しました。合言葉は【次世代に素晴らしい地球を良い状態で渡そう】です。今年日本で開かれる洞爺湖サミットの中心議題は、地球環境の改善だといわれています。ここでは当事国として参加する各国のCO₂削減目標が割り振られると思っています。そうなれば日本国としての削減目標は国会で都道府県ごと振り分けられ、市町村、町内にも振り分けられるはずですが、そして一会社も削減目標が割り振られると思っています。

我々に振り分けられた削減目標をクリアするために何かをしなければいけないのです。その何かをイメージできるのが【ハチドリの一滴】の本で、よく売れているそうですが、一人の

CO₂削減への取り組み行動は小さなものかもしれませんが人類の多くがCO₂削減に努めていけば温暖化が収まり、素晴らしい地球が戻るという話です。このような状況の中で、印刷製造会社として取り組みやすいのがグリーンプリンティング（GPマーク）認証取得だと思います。取得過程で環境に適合した用紙、印刷資材からVOC削減対策などを知ることが出来ます。

当工組、環境委員会の最重要課題は『GPマーク取得申請を支援』としました。全国で初めて試みたことは、当環境委員会が愛知、岐阜、石川3県のGP認証取得申請までの積極的な支援を行ったことです。愛知は1社が認証を取得されましたが、愛知の計画目標では5社の認証取得を目指していましたが結果としては満足とはいえませんでした。支援、告知にも問題があったといえます。来期の事業計画も中心はGPマーク認証取得申請までの支援を最重要課題としていきますので多くの組合員の取得を期待しています。

最後に、委員会を支援して頂いた方々に対して厚く御礼を申し上げます。

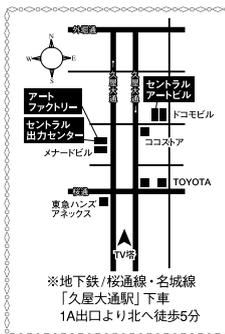


東海地区最大級!!
**画材・額縁
絵画・ギャラリー**

セントラル画材株式会社

名古屋東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル
Tel: 052-950-3456 Fax: 052-951-8997

URL: <http://www.central-gazai.co.jp>



※地下鉄/桜通線・名城線
「久屋大通駅」下車
1A出口より北へ徒歩5分



必ず貴方の仕事の力になります



CENTRAL GROUP

- (株)セントラルグラフィックセンター/営業部
名古屋東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル5階
Tel: 052-950-3456 Fax: 052-950-4456
- セントラル 出力センター
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル2階
Tel: 052-953-9628 Fax: 052-951-2641
DTP 出力・大型カラー出力 (ポスター・屋外対応プリント他)

- (株)セントラル画材(株)/企画営業部
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階
Tel: 052-953-8737 Fax: 052-951-8993
- セントラル アートファクトリー
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階
Tel: 052-951-8994 Fax: 052-951-8993
フレーム加工・看板制作等

- セントラル フレームセンター
名古屋東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル3階
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6518
額縁・絵画コレクション・フレーム・額縁販売
- セントラル アートギャラリー
名古屋東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル4階
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6516



平成19年度2月理事会

今後の事業日程を決定

写真は平成19年度2月理事会

新理事長候補・高井氏 副理事長候補・木野瀬、細井、鳥原の各氏を推薦

平成20年2月19日(火)午後3時30分より、平成19年度2月理事会が29名の出席により、愛知県印刷会館3階・会議室で開かれました。

白井統一理事長の「私の地元・豊橋では『鬼祭』が毎年2月11日に行われ、それが済むと春が来ると伝えられています。本日は国府宮で『はだか祭』が行われます。これが終わると本当に春が訪れるのだなと感じます。でも、印刷業界には、なかなか春が来そうもありません。従って、私たちも真剣に適正価格に取り組む必要があると思います。企業経営は大変に厳しい環境にあります。何とか乗り越えていきたいと考えます。そのような中、3月で平成19年度は終わりです。この理事会では慎重な審議をお願いします」との挨拶の言葉で始まり、同理事長が議長を務め、議案の審議が進められました。以下、その内容の要旨です。

1) 組合員加入・脱退の件

今回の理事会においては、木村紙商事(東北支部)の組合員としての加入が承認され、加入累積9、

脱退累積8、組合員総数344(平成19年度期首343)であることが報告されました。

2) 平成19年度決算見込み

村瀬誠専務理事が平成19年度の決算見込を説明し、承認されました。

3) 平成20・21年度役員候補者選出の件

役員推薦委員会が1月に開催され、席上、白井統一理事長と鈴木正博副理事長が辞意を表明され、その意を受け入れた委員会では、新理事長候補者として高井昭弘氏、副理事長候補者として木野瀬吉孝・細井俊男・鳥原久資の3氏を推薦。理事会としては、拍手をもって4名の候補者を承認しました。

4) 印刷協同組合の件

印刷協同組合の件では、5月23日(金)(愛印工組総代会当日)に協組の総会を開催して脱退及び確定出資金返還の手続きを決め、その後、具体的な手続きに入る事が報告されました。

5) 今後の行事予定(3月以降)

印刷営業技能審査認定試験

KONICA MINOLTA

プロフェッショナル新潮流 デジタル化によるスキルレス時代の到来

プリンターの生産性と低コスト

A4/51枚 1分当り
A4フルカラーを最大51枚(A4)/分という大きな生産力で、迅速な検版作業をサポート。またショートラン印刷にも対応できます。
[生産性]

多用途紙対応
近似した再現性と多彩な用紙での出力。画像・文字再現に忠実なカラーブルーが安価に出力できます。そして色校正での出力回数を減らし、一層のコストダウンをはかります。
[低コスト]

A3 Wide
A4トンボ付を2面付の出力サイズ。印刷における実用面を考慮した、A4トンボ付を2面付で出力できる実用性が、出力時間やペーパーの節約に役立ちます。
[実用性]

重合法トナー
高い画像・文字品質を実現。一層広い色域を有するトナーの開発。また重合法トナーの技術により均一粒状を実現し、ハイエンドDDCPIに匹敵する再現品質が得られます。
[再現性]

プリンターの実用性と再現力

Pagemaster Pro
ハイクオリティカラーレーザーブルーファ

本社：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 / TEL.03-5297-5602(代)
名古屋支店：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル10F / TEL.052-231-6277(代)

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社

期日：平成20年3月8日(土)、会場：ウィルあいち、スケジュール：午前10時～10時30分/受験説明(注意事項等)、10時30分～11時30分/知識試験、午後零時30分～4時/見積技能試験

平成20年度技能検定

募集開始：3月上旬

平成20年度鉛・有機溶剤取扱者健康診断(前期)

時期：4月～9月、募集：3月上旬

4月期理事会

日時：4月21日(月)午後3時30分、会場：愛知県印刷会館3階・会議室

平成20年度総代会

期日：5月23日(金)、会場：名古屋観光ホテル

平成20年度中部地区印刷協議会上期会議

期日：6月20日(金)・21日(土)、開催地：三重県鳥羽市

7月期支部長会・理事会

日時：7月18日(金)午後3時30分、会場：愛知県印刷会館3階・会議室

9月期理事会(持出)

期日：9月12日(金)・13日(土)、会場：未定



挨拶する白井理事長

全日本印刷フォーラム2008鹿児島大会

期日：10月17日(金)、会場：城山観光ホテル

12月期支部長会・理事会

日時：12月5日(金)午後3時30分、会場：愛知県印刷会館3階・会議室

平成21年新年互礼会

期日：平成21年1月15日(木)、会場：名古屋国際ホテル

2月期理事会

日時：平成21年2月19日(木)午後3時30分、会場：愛知県印刷会館3階・会議室

愛印工組 教育・労務委員会セミナー

印刷業のこれからと現状

～印刷屋では気付かない印刷業界～

三つの講座を開講

2月2日(土)、デザインセンタービル(ナディアパーク)6Fセミナールーム2において、教育・労務委員会セミナーが開講されました。

当日はセミナーに先立ち岡田邦義委員長が「本日は愛印工組の教育・労務委員会の主催で三つのセミナーを開講させていただきます」と挨拶し、講座がスタートしました。

今回のセミナーは、「メーカー・代理店から見た印刷業のこれからと現状～印刷屋では気付かない印刷業界～」をメインテーマに掲げて3講座が開講され、第1講は28名/14社、第2講は21名/12社、第3講は28名/16社が聴講しました。

3講座が開かれた時間及び演題と講師は次の通りです。

第1講=時間：午前10時～11時30分、演題：「話題の高付加価値印刷」、講師：藤岡英男氏(大日本インキ化学工業(株)東京工場フィールドサービス技術グループリーダー)

第2講=時間：午後1時～2時20分、演題：「今がチャンス!エコロジーペーパーとその活用」、講師：谷口和隆氏(平和紙業(株)東京本店販売推進部長)

第3講=時間：午後2時30分～4時、演題：「紙に起因する製品トラブルへの対処法～全紙の形状と断裁精度～」講師：寺田重吉氏(イトーテック(株)断裁インストラクター/木村紙商事(株)生産管理課)



教育・労務委員会セミナー



中部地区印刷協議会
平成19年度下期会議（愛知県会議）

中部地区印刷協議会

地域、各県の問題を意見交換

2月22日(金)午後12時15分より、平成19年度下期の中部地区印刷協議会が、名古屋市のキャッスルプラザで開かれました。今回は来賓として全印工連から浅野健会長、白井紘一副会長、武石三平専務理事をお招きし、総勢50名が出席しました。

協議会は、開催県を代表して、愛印工組の高井昭弘副理事長が挨拶、続いて中部地区協会の林初彦会長と全印工連の浅野会長が挨拶の言葉を述べ、前半の全体会議へと続きました。

前半の全体会議では、全印工連からの報告と連絡事項の説明を武石専務理事が行い、浅野会長が「全印工連会長として学んだ事」と題した講演を行いました。

分科会は5委員会と理事長会で活動報告、討議を重ね、後半の全体会議でその報告が行われ、意義ある協議会となりました。

挨拶

開催県挨拶・高井昭弘愛印工組副理事長

寒い中を愛知県にお出でいただき、感謝申し上げます。寒い日が続いているので、石川県の福島理事長に雪の状況を聞きましたら、「あまり降っていない」とおっしゃられたので驚いてしまいました。しかし、愛知県では気温の低い日が続いており、私は本当に寒い冬だと感じています。

前回の高山市で行われた地区協では、岐阜県工組の皆様方に大変お世話になりました。大勢の方々にお迎えをいただき、意義ある地区協になったわけですが、例年、下期会議を担当する愛印工組は主催県でありながら参加者が少ないので、今回、白井理事長が大勢の参加を呼びかけました。結果として、岐阜県工組と同じ11名の参加を得ることができました。最多出席県とはなれませんでした。従来になく大勢の工組役員が出席しています。いずれにしても、今回は特別参加の愛印工組の組合員もいるので、有意義な勉強をさせていただこうと考えています。

中部地区印刷協議会・林初彦会長挨拶
下期会議は例年、当地・名古屋で開催させていただいております。私は月に2~3回、名古屋を訪れるのですが、「名古屋はすごく活力があるな」と訪問するたびに実感します。トヨタ自動車は生産台数において、30万台GMに負けたかも知れませんが、財務状態はGMが足下にも及ばないほどの世界一の文字通り素晴らしい企業になっています。その一方で、環境問題で国際的に協調していかなければなら

ないという面から考えてみると、トヨタ自動車はもう少しお金を出してくてもいいのではと感じております。

今日は、ある意味では、記念すべき地区協になると思います。浅野会長が5月で退任と承っているため、今日は会長としての最後の話が聞けるからであります。浅野会長には「全印工連会長として学んだ事」と題して後ほど講演していただきます。ポスト2008計画も、おそらくこれから出てくると思いますので、そういう部分も含めて、我々がこれから進んでいくべき道筋、ロードマップを聞かせていただければと思います。

私事になりますが、私は年初の1か月ほど、印刷業界の皆様方とか、自社の守備範囲である出版社を中心とした業界を回ってまいりました。大変に残念ですが、良い話は正直言ってございませんでした。このところ、新聞紙上でも報道されておりますように、大手がどんどん統合して事業の見直しをしております。

そういう中、東芝がHD DVDから撤退しました。ブルーレイ側に負けてしまったわけです。そういう事例から学ぶことは、集中と選択をしっかりとやっていかないと業種・規模を問わず、あらゆる企業が淘汰されていくということです。そういう大変に厳しい時代になってきていると感じます。

我々印刷業界においては、申し上げるまでもなく、ありとあらゆるものが原油の高騰に伴って値上げされています。それが私たちの経営環境を厳しいものにしていきます。しかし、そうは言っても、この世界で我々は実際に生きていかなければなりません。やはり、少しずつでも着実に業態変革しながら、前進していく必要があると思います。

私は先日、岐阜県工組の一員である企業を見学させていただきました。工組には加入しておられるのですが、元々の事業内容は箔押しで、従業員数は120名ほどです。そこを訪問して、現在、手掛けておられる仕事をつぶさに見させていただきました。



高井副理事長の開催県挨拶



挨拶する林会長

例えば、練り歯磨きのチューブに巻いてある製品名をロール紙で印刷し、それにごく一部だけ箔押しをするのですが、そのごく一部だけの部分は、ほとんど日本中からと言ってもいいくらいの多くの仕事を受けておられます。箔押しの精度は素晴らしく高く、大手印刷企業からの仕事も受注しておられるようです。その会社が最近食べられるフィルムを開発され、それを薬品の一部に使おうとしておられます。この5月に製薬会社の認可を受けると言っておられました。しかも、中国人女性を採用するために、組合をつくり、22名の女性を雇用しています。その女性たちは細かい仕事をやっております。わが社は紙の印刷で、出版物ばかりをずっと手掛けてきて、いま66年目という会社ですが、私は本当に大きなインパクトを受け、考え込んでしまいました。わが社の将来をどのように考えていくべきか、見学してつくづくそれを感じました。これは私たちが進めようとしている業態変革に繋がるものだと思いますが、簡単に真似のできるものではありません。とにかく、いままで通りのことをいままで通りにやっていたのでは、いけない世の中になっているのは確かです。それは大企業を見学していても全くその通りだと私は痛感します。

本日の会議の中では、いろいろな話が出てくると思います。その中から何かをつかみ、将来を眺めら

SCREEN MEDIA TECHNOLOGY **ここが違います。大日本スクリーンの CTP Workflow**

1 PDF1.4対応をはじめとする最新のコアテクノロジーでCTPをサポートするインテリジェントRIP

ネットワークプロダクション対応
インテリジェントRIP
Trueflow

2 目的別に選択できるPlateRiteシリーズ

四六半裁判対応
サーマルプレートレコーダー
PlateRite4300

四六全判対応
サーマルプレートレコーダー
PlateRite8600

株式会社メディアテクノロジー ジャパン
本 店 / 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル <http://www.mtjn.co.jp/>
名古屋支店 / 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル 052(218)6400

大日本スクリーン製造株式会社
メディアテクノロジーカンパニー <http://www.screen.co.jp/>
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。

SHINOHARA
75VIHP

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所
本 社 〒420-0813 静岡市長沼596番地
TEL(054)261-2141 FAX(054)262-6279
名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654
最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

れるように、有意義な会議となるよう、皆様方のお力添えをお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

全印工連・浅野健会長挨拶

私が中部地区印刷協議会に出席させていただくのは、全印工連の会長に選任していただいた最初の年の上期の地区協以来です。以後、地区協には出席していません。なぜならば、地区協議会には地区協の会長がおられますので、全印工連の会長が来るのは失礼にあたるからです。

私はいつも全印工連という団体は、県工組の上部団体ではないと申し上げています。皆様方工組様からの会費で運営されているのが全印工連です。従って、皆様方は、上におられるわけです。ただ、1県工組では、どうしても扱えない問題があります。例えば、愛印工組が経済産業省とダイレクトにパイプをもちたいと考え、いくら努力されても、それは無理です。そのために、全国的な連合体がつくられたわけです。それが中小印刷業界では全印工連で、皆様方の県工組の下支えをしているということになります。私は会長と呼ばれていますが、営業部長であると思っています。

皆様方に選任していただき、2期4年、決して無事ではありませんが、時間だけは全うできそうです。5月27日の全印工連の総会まで万全を尽したいと考えています。私が2期4年間、会長を務めてこられたのも、皆様のご理解とご協力があつたからこそです。今日はお礼の意味も込めて、私が4年間にわたり学ばせていただいたことをお話しさせていただきます。皆様のおかげで変革期にいろいろなことを一緒に考えることができたことは胸の張れる思いがします。皆様方のご協力に、本当に感謝申し上げます。

全体会議前半（武石専務理事の全印工連事業説明、浅野会長の講演）、全体会議後半（分科会報告）は次号に掲載。

全印工連「平成19年度経営動向実態調査」

**売上高伸びるも利益は減
利益率の改善に結びつかず**

全日本印刷工業組合連合会（浅野健会長）が毎年実施している「印刷業経営動向実態調査」の平成19年度の調査結果の概要が公表された。この調査は、平成19年7月時点（平成18年直近決算期分）で実施し、全国のモニター企業1,657社のうち434社からの調査票の提出を受け集計したもの。

売上高では、一人当たりの純売上高は18,764千円（前年比1.4%増）、加工高8,855千円（前年比0.6%増）、純加工高7,787千円（前年比0.1%増）といずれも微増した。売上高構成比には目立った変化はなかったが、加工高比率及び純加工高比率はわずかに

低下した。

売上高の分野別構成比では、商業印刷が2.1ポイント増、事務用印刷が1.0ポイント減となったほか、証券印刷、包装（パッケージ）印刷が低下したが、ソフト・サービスは初めて2.2%を超えた。

経営数値では、人件費（1人平均）及び営業員売上高（1人平均）が、それぞれ1.5%及び2.1%の伸びを見せたが、営業利益率、経営利益率、純利益、純利益率、自己資本比率はいずれも低下し、経営内容が悪化していることが分かる。

就業人員の部門別構成比では、役員がわずかに減少している以外は大きな変化は見られない。

年間所定労働日数・労働時間では、年間実働時間がわずかに増えて2,126時間となったが、全体的な傾向としては前年とほとんど変わりはない。

「自費出版契約ガイドライン」策定

**自費出版のトラブル解消
日本自費出版ネットワーク**

NPO法人日本自費出版ネットワーク(中山千夏代表理事)では、「自費出版契約ガイドライン」を策定した。これは、今年の1月に自費出版大手の俳新風舎が破産し、自費出版をめぐるトラブルが社会問題となり、自費出版への不信感が生じている。この新風舎のみならず、過去には、別の大手自費出版業者が訴訟を起こされる出来事もあって、なおのことである。日本自費出版ネットワークでは、「実際に会員からのトラブルの相談はほとんどないが、一部の出版社の問題などから世間一般に自費出版全般への不信感が広がるのは大変憂慮すべきことである」と

述べている。

トラブルの多くは、著者が自費出版業者と結ぶ契約とその履行過程で発生している。こうしたトラブルを払拭するために、自費出版事業者が自費出版を希望する著者と契約を結ぶ際、遵守すべき原則事項をガイドラインとして纏めた。それが「自費出版契約ガイドライン」である。このガイドラインでは、著者に対して、ガイドライン遵守業者であるか、または、ガイドラインに沿った契約が行われているかを確認の上、相談・依頼するよう推奨している。

自費出版ネットワークでは、事業者からの申請に基づいて、審査のうえ、「自費出版契約ガイドライン遵守事業者」として認定する。認定業者名は、日本自費出版ネットワークのホームページや文書、その他の方法で公開する。また、認定された事業者は自社の広告やホームページ、名刺などの媒体に「遵守事業者」であることを自由に記載することができる。

ガイドラインでは、自費出版契約、遵守事業者の行動原則、法律に基づく消費者保護の義務、情報の開示及び個人情報の保護責任義務、自費出版(制作・販売)についての説明義務、重要事項の書面による保存など11項目を定めている。

例えば、自費出版契約を結ぶ場合の説明では、出版物の所有権、著作権の帰属、受託から納品までの期間、編集・デザイン・印刷・製本・配送費用・販売価格、著者に支払う費用の比率、支払条件などを明確に示す、著者に誤解のないよう説明し、十分な理解を得ることなどを定めている。

身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事、場所、備考	
3月中旬～ 4月上旬	事業・行事	平成20年度 技能検定オフェット印刷作業 受験申請受付
	申し込みお問い合わせは、愛知県印刷工業組合まで	
4月7日(月) 19:00 ～20:30	事業・行事	印刷寺子屋「印刷業界の現状、展望、課題」
	場所	愛知県印刷会館 3階「会議室」
	講師	山内亮一氏 (社)日本印刷技術協会 専務理事)
4月21日(月)	事業・行事	三役・理事会
	場所	愛知県印刷会館 3階「会議室」
5月23日(金) 10:00 ～16:00	事業・行事	平成20年度 通常総代会
	場所	名古屋観光ホテル
	詳細調整中	

身近な催し物のお知らせ（関係団体）

開催日時	事業・行事、場所、備考	
6月20日(金) ～ 6月21日(土)	事業・行事	中部地区印刷協議会 上期会議
	場所	エクシブ鳥羽アネックス
	詳細調整中	

申請・認定に関する規定

自費出版契約ガイドライン厳守事業者の申請・認定に関する規定で、認定は、NPO法人日本自費出版ネットワーク理事会が行なう。申請にあたっては、登録申請書（誓約書）とともに、申請事業者の登記簿謄本（申請日の直近3か月以内発行）、申請代表者の住民票謄本（申請日の直近3か月以内発行）が必要。登録票に関しては、当ネットワーク所属の正会員については無料。それ以外の事業者については所定の登録費用が必要。(社)日本グラフィックサービス工業会の正会員及び自費出版編集者フォーラムの正会員については1万円、それ以外の事業者については2万円が必要となる。

NPO法人日本自費出版ネットワーク事務局 / 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16ニッケイビル TEL03-5623-5411

OLIVER496SD

大型多色SDシリーズ 第一弾

**菊全判4色
印刷機**

オールインワン
最新自動化設備 完全装備

最高の製品を届けることで、お客様の満足をお約束します

株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

名古屋営業所 〒451-0084 名古屋西区上堀越町2-9-1
TEL.(052)524-5541(代) FAX.(052)524-5545

大阪営業所 〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

震災にあっても、すぐに事業を ～事業継続計画（BCP）

愛知県産業労働部と愛知県印刷産業団体連絡会共催の講習会が2月25日(月)午後1時30分より、名古屋ガーデンパレス2階・鼓の間において開催され、各関連団体から84名が出席しました。

当日は、愛印産連の都築延男副会長の司会で進行し、村瀬幸正愛知県産業労働部地域産業課主幹と愛印産連の伊藤光昌副会長が挨拶の言葉を述べ、講習会の幕が開きました。

講習会は2部構成で開かれ、第1講は富士常葉大学環境防災学部・大学院環境防災研究科教授/池田浩敬氏が講師を務めて「中小企業における事業継続計画（BCP）」について、第2講は㈱損保ジャパン・リスクマネジメントBCM事業本部主任コンサルタント/市川岳氏が講師を務め「『あいちBCPモデル』」を利用した『BCP集団研修』について行われました。

このうち、第2講の中で、実際に集団研修を体験した愛知県印刷工業組合の㈱アサヒグラフィックスCSR推進室/石橋智章氏とプリ・テック㈱生産部/石川等氏が次のような感想を述べました。

㈱アサヒグラフィックス/石橋智章氏

BCP集団研修に参加して良かった点は三つあります。一つはBCPへの取り組みをスタートできたことで、これが一番大きい効果だと思います。二つ目は他社と一緒にだったので、いろいろな意見を聞くことができたことです。これは、BCPという観点だけではなく、ほかの業務に関するいろいろな参考になることがありました。三つ目は、まとまった資料及び記入されたワークシートが手に入ったことで、とても役に立ちました。

少しやりにくく感じた点は、参加各社の地域性や設備に違いがあり、参考にならない部分もあったことです。これは、BCPの予備知識のない最初の段階

では、そんなに大きな問題にはならないと思いますが、ある程度策定が進むと、やはり地域性、規模が同じような集まりの方がいいかなと感じました。

BCP策定で私どもが一番苦労した点は重要業務の特定でした。当社は工場拠点が3か所あります。名古屋の本社と瑞浪市に第1工場・第2工場があり、また営業所が3か所あります。各工場の業務も違います。名古屋の本社工場は枚葉工程とプリプレス、工程管理。瑞浪の第1・第2工場はA輪転、B輪転、加工という形で、業務に違いがあります。もう一つ、今年の秋、本社と本社工場の移転が決まっており、重要業務の絞り込みが非常に難しかったのです。最終的には、本社機能の回復をBCPのテーマにして、次のステップで製造の再開に向けたBCPを展開していこうということになりました。いま本社機能の回復のBCP策定という形で完成を目指しています。

本社機能の回復を重要業務として、本部を設置し、最終的に復旧作業の指示を出すという流れになりますが、連絡手段は携帯のメールだけでいいのだろうかとか、衛星の携帯電話が必要ではないかとか、無線はどうかとか、そういうことも検討しました。また、集まってきた情報を整理するための場所、ホワイトボードやテントはどうするかなど、細かな問題も出てきました。これは今後、製造のBCPを検討する中でも同じように出てくると思います。

重要業務の絞り込み以外に、BCPを検討するにあたって苦労したことは、個人情報とか秘密情報の扱いです。何をどの段階まで公開していくかについても苦労しました。集団研修の日程が決まっていたので、Pマークの取得の時間の都合をつけることも苦労しました。

集団研修終了後、私どもでは本社と本社工場の移

再開するために 取り組みの紹介～

転が決まっていたので、その設計にBCPを練り込みました。目指したのは、被災したあとの対策よりも、被災しない災害に強い工場づくりです。社内で啓発用のポスターもつくりました。外部に対しても、会社案内として利用しています。

これから、BCPを展開しようとする皆様は、まずモデル事業のコンパクト版に取り組みをみることを推奨します。コンパクト版の順に進めていくことで、BCPの全体像が把握できるようになっています。二つ目のアドバイスは、BCPはできることから取り組みでいくことが大切だということです。

プリ・テック㈱/石川等氏

当社はグループ企業から成っており、愛知県西尾市・半田市、岐阜県多治見市、東京に事業所があります。各事業所とも印刷物の受注から制作、印刷、加工までを行っています。今回、愛印工組で行われたBCP集団研修においては、東京を除く各事業所から参加しました。当社は一企業としての取り組みではなく、グループ企業としてBCPに取り組みました。当グループ企業は、平時よりグループ企業間の交流を密にしており、日常業務で発生するトラブルに対してグループ内でほぼ解決できるような体制になっています。しかし、まだ不十分な点もあります。特に災害発生時には、被災した事業所の製品を他社で代替生産しようという主旨でBCPに取り組みしています。顧客に対しては、グループ企業ならではの強みをPRすることで企業価値を高めようと考えています。

BCPの重要業務の選定については、グループを形成する各企業がそれぞれに重要業務を選定していたのですが、それではグループ企業の強みを活かすことができません。現在では、グループ全体としての重要業務の選定を行っています。重要業務として拳



BCPの取り組み講習会

げられている製品は、東海地域だけではなく、他地域にも事業を展開されている企業の印刷物。愛知県が被災しても、他県の事業所で印刷物を必要とする企業があります。その印刷物を重要業務に選定しようという話が上がっています。災害時の企業責任ということで、公共性の高い印刷物、市町村が発行する広報などはどうかという意見も上がっています。

BCP策定で苦労した点は、地震等の災害の危機意識が従業員に浸透しづらいことです。また、想定される災害に対する対策として、食料の備蓄、建物や設備の耐震補強などに必要な費用が考えられますが、それが判断しづらいことも苦労した点です。企業単独の取り組みでは災害発生時に事業継続は不可能で、各取引会社との連携が必要で、その対応も苦労する問題です。これから、取引業者と協議を重ねて決めていくこととなります。災害時の従業員、家族の安否確認も個人情報の問題があり、収集が難しくなっています。

これからBCPに取り組みされる企業の皆様方へのアドバイスとしては、今回のような研修会に参加されることにより、他社の取り組みや考えを参考にしたり、比較したりすることができると、講習会には積極的に参加されると有意義だと思います。それと、取引業者との交流を深める必要もあります。自社だけの取り組みでは、災害時の対応は難しいので、その点について取引業者とディスカッションされることをお勧めします。



いま動き出すプロ用 Windows DTP
PROX ELWIN
ブロック エルウィン

- WindowsNT の採用により取り組み易い操作環境を提供
- 多様な展開が図れ、PDF ファイルへの変換が可能
- PS フォントと TrueType フォントの高解像度出力を実現
- 当社製 PS RIP「ExpressRIP-M」との接続に加えて、多様な他社 RIP への接続対応を順次実施

株式会社 モトヤ

〒461-0035 名古屋市東区黒門町128
☎(052)935-5315 代 FAX(052)935-5338

大河内紙業(株)・林紙産業(株)
合併
平成20年6月1日に新会社発足

新会社・社名

紙をクリエイトする
Axuas

株式会社 アクアス

大河内紙業/株
〒460-0008 名古屋市中区栄1-25-35大幸ビル
TEL.052(220)5511 FAX.052(220)5522

林紙産業/株
〒461-0011 名古屋市東区白鷺3-12-13中産連ビル新館5F
TEL.052(938)0311 FAX.052(938)0317

「地球にやさしく、社会に必要なとされる会社」を目指して命名。

媒体別広告費 電通：2007年日本の広告費より

媒体	広告費(億円)		前年比(%)		構成比(%)	
	2006年(18年)	2007年(19年)	2006年(18年)	2007年(19年)	2006年(18年)	2007年(19年)
総 廣 告 費	69,399	70,191	101.7	101.1	100.0	100.0
マスコミ4媒体広告費	36,668	35,699	98.0	97.4	52.9	50.9
新聞	9,986	9,462	96.2	94.8	14.4	13.5
雑誌	4,777	4,585	98.7	96.0	6.9	6.5
ラジオ	1,744	1,671	98.1	95.8	2.6	2.4
テレビ	20,161	19,981	98.8	99.1	29.0	28.5
衛星メディア関連広告費	544	603	111.7	110.8	0.8	0.8
インターネット広告費	4,826	6,003	127.8	124.4	6.9	8.6
媒体費	3,630	4,591	129.3	126.5	5.2	6.5
広告制作費	1,196	1,412	123.4	118.1	1.7	2.0
プロモーションメディア広告費	27,361	27,886	103.0	101.9	39.4	39.7
屋外	3,946	4,041	103.7	102.4	5.7	5.8
交通	2,539	2,591	103.1	102.0	3.7	3.7
折込	6,662	6,549	100.2	98.3	9.6	9.3
DM	4,402	4,537	102.0	103.1	6.3	6.5
フリーペーパー・フリーマガジン	3,357	3,684	118.4	109.7	4.8	5.2
POP	1,845	1,886	103.5	102.2	2.6	2.7
電話帳	1,154	1,014	96.8	87.9	1.7	1.4
展示・映像他	3,456	3,584	98.1	103.7	5.0	5.1

(注) 今回から「日本の広告費」の歴史を振り返る

総電通が、「2007年(平成19年)日本の広告費」を発表した。それによると、2007年(1月から12月)の日本の広告費の総額は7兆191億円、前年比1.1%増。4年連続の増加となった。

マスコミ4媒体(新聞・雑誌・ラジオ・テレビ)広告費は、3兆5,699億円、前年比2.6%減。3年連続して前年を下回った。インターネット広告費は、6,003億円、前年比24.4%と大幅に伸長した。また、プロモーション広告費は、2兆7,886億円、前年比1.9%増となっている。これは、フリーペーパー/フリーマガジン・野外・交通・展示/映像・DM・POPなどが増加したことによるもので、4年連続の増加である。衛星メディア関連広告費は603億円、10.8%の伸びを見せている。BSデジタル放送の増加によるものである。

2008年度の広告費については、前年比1.7%の伸びがあると予測している。

2007年国内広告費

伸び率著しいネット広告/雑誌広告を抜く
マスコミ4媒体は前年下回る

本を紹介

「印刷産業のための個人情報保護の手引き」

(社)日本印刷産業連合会はこの程、「印刷産業のための個人情報保護の手引き」を発行した。この手引書は、JIS準拠ガイドラインの各条項を解説するとともに、印刷事業者が留意すべき点、特に、安全管理措置について具体的な取り組み事例並びに様式を豊富に掲載している。

個人情報保護体制の構築・運用・維持、及び、日常業務における指針・プライバシーマーク付与認定取得の準備などに活用できる。

日印産連では、平成19年7月に「JISQ15001:2006個人情報保護マネジメントシステム要求事項」に準拠した「印刷産業における個人情報保護ガイドライン」(JIS準拠ガイドライン/平成20年2月1日改定)を制定し、プライバシーマーク付与認定機関として、審査業務を開始している。

手引書は、これを機会に各印刷会社が新しいガイドラインにそって、個人情報を適切に取り扱うための解説書として発行されたものである。

A4判96ページ、価格1,500円(消費税込み、送料別途)。

問い合わせは、日印産連総務部 TEL03(3553)6051まで。

「DTPの基礎2008」

DTPエキスパート認証試験対策本「DTPの基礎2008」(岸本正治著)が刊行された。

グラフィックアーツ概略/印刷企画と編集、色、画像入力、フィルム出力、印刷・インキ・用紙、後加工。コンピュータ環境/ページネーションのデータ、ハードウェア、オペレーティングシステム、入出力、ネットワーク、データ返還、アプリケーションシステム設計などが網羅されている。

また、第28期DTPエキスパート公開

模擬試験/模範解答も収録されている。

B5判、270ページ、定価2,900円(税込み、送料別途)。

詳細については、(株)編集工房CGE：〒650-0011神戸市中央区山手通5-5-16(兵庫県印刷会館内)、TEL078(371)5404、FAX078(371)5409まで。

事務局だより

三寒四温。寒い日があると思えば暖かい日もある今日この頃ですが、印刷会館から少し北に行った交差点の脇で、まもなく満開を迎えるであろう梅の木を見つけました。寒さの中で咲き誇る梅の花に、春まじかな気配を感じました。

「あいちの印刷」

No.436

平成20年3月10日発行

発行人 白井 紘一
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
TEL 052 962-5771
FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp